

政 務 活 動 報 告 書

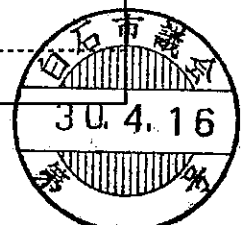
平成 30年 4月16日

白石市議会議長 志村 新一郎 殿

議員氏名 大町 栄信

下記のとおり行いましたので報告いたします。

期 間	平成30年3月29日(木)～3月30日(金)
調査・研修先	国土交通省、農林水産省、まち、ひと、しごと創生本部
調査事項 (研修事項)	白石市議会議員研修
対応者・講師等	<p>①国土交通省</p> <p>講師:道路局、国道防災課 小林 賢太郎 氏 清橋 秀聡 氏 高速道路課 金清 翔平 氏 川村 英知 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白石市越河地内の国道4号線拡幅工事進捗について ・白石市内の高速道路スマートインター新設についての動向 ・白石市内の国道4号線副線化の見直しについて <p>②農林水産省</p> <p>講師:政策統括官付穀物課 稲垣 晴香 氏 石井 一成 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲作の減反廃止について ・米政策全般について <p>③まち、ひと、しごと創生本部</p> <p>講師:参事官補佐 大口 篤志 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・30年度の地方創生政策について
概要	1、国土交通省
① 背景・目的	①白石市越河地区内の国道4号線拡幅工事進捗について
② 内容・特色	②白石地区(越河)付加車線整備-2.2kmについて、平成24年度より行っている
③ 主な質疑	③白石市内のスマートインター新設についての動向
④ 考察 (感想、課題、 政策提言等)	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートインターチェンジは、通行可能な車両をETCを搭載した車両に限定しているインターチェンジである ・ETC専門の専用のため、料金徴収施設を集約する必要がなくコンパクトな整備が可能



- 料金徴収にかかる人件費も節約可能
- 今まで開通しているのは98ヶ所、事業中69ヶ所になっている
- 白石～国見間は20km以上あることから必要性が考えられるので
地方での計画、検討、調整を考えていけるとよいと思われる

2、農林水産省

①稲作の減反廃止について

30年産から行政による生産数量目標の配分がなくなる(つまり減反廃止)
しかし国は引き続き、きめ細やかな情報提供や水田フル活用に向けた
支援を講じる……？

②米政策全般について

30年から新たな政策が始まる…経営判断のための国からの情報提供や支援措置
1つにきめ細かい情報提供、2つに生産コスト低減、3つに水田フル活用に向けた
支援、4つに米の需要拡大…とはいえ私は先のみえない政策としかおもわない。

3、まち、ひと、しごと創生本部

30年の地方創生総合戦略(2017年の改訂版)について

◎ライフステーションに応じた地方創生の充実強化

地方の若者の減少→東京一極集中の現状を考えたとき、地方消滅の危機
に陥りかねない。

◎各基本目標(2020年目標)

- ①地方に仕事をつくり、安心して働けるようにする
- ②地方への新しひとの流れをつくる
- ③若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる
- ④時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する

◎政策の充実と強化を図る

◦地方における若者の修学・就業の促進

地方大学づくりの振興により地方における若者定住を図る

◦創業支援・事業承継支援の推進

団塊世代の経営者の引退時期を控え 若者へ承継問題に取り組まなければ
ならない(地方創生推進交付金等により積極的活用していく)

◦地方における企業拠点の強化を促進する

東京一極集中是正に直接的に効果のある移転型事業の拡充

◦民間主体のまちづくり活動の推進

◦地方生活の魅力の発信、体験(子供の農山 漁村体験など)都市子供たち
との交流の促進

	<p>○地方への大きなひとの流れをつくる抜本的な対策を積極的に取り組みが重要である</p>
感想	<p>まち・ひと・しごと創生総合戦略における政策によって、地方創生推進を図り、地方に仕事をつくり、地方に流れつくる。若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる。時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地方公共団体が、地域の実情に応じ、自主的、主体的に地方創生に取り組むことができるよう進めていく必要がある。</p>